

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額			
					総額	県	市町村	地元
美術工芸品 防災施設	万歳院	万歳院御正体 銅造十一面観音 懸	県重文	防災設備工事	315	210	18	87
建造物保存修理	会津民俗館	旧佐々木家住宅	〃	屋根・ぐしの修繕	1,700	850	300	550
重要無形民俗 文化財保存	岡山鹿島神 社水かけ祭 保存会	岡山の水かけ祭	県無 重民	器具の修繕	1,000	660	170	170
美術工芸品 保存修理	表郷村	金銅装笈	県重文	胎内仏6軀の修理	300	150	150	—
建造物保存修理	田島町	旧南会津郡役所	〃	外壁塗装	2,600	1,300	1,300	—
		合計			21,321	11,550	7,774	1,997

ウ 大内宿保存特別対策事業の推進

南会津郡下郷町大内宿は、昭和56年4月18日付、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたが、本年度は3年目に当り、次の事業を実施した。

- ・国庫補助事業 茅屋根の葺替・修景 7戸
- ・県単独補助事業

大内宿の伝統的建造物群の保存を図るため、国庫補助対象外の環境整備事業に対し、県費助成を行った。

補助対象事業 町並展示館建設費補助
補助率 1/2
補助金 25,720千円

(4) 文化財活用の促進

① 県指定文化財の施設整備

文化財に対する理解と認識を高め、地域住民の文化財愛護精神の高揚を図るため、昭和56年度より県指定文化財に対し、説明板等を設置してきたが、最終年度として、本年度は次のとおり設置した。

本年度設置市町村 18市町村

	説明板	標柱	方 案 内 柱	計
建造物	11	8	3	22
史跡	6	6	3	15
天然記念物	6	6	2	14
史跡及び名勝	1	2	2	5
計	24	22	10	56

② 「福島県の指定文化財」(要録)の作成

文化財に対する理解と認識を高め、文化財愛護精神の普及啓発を図るため、県指定文化財の指定内容を集録した解説書を、昭和58年度から3ヵ年継続で作成する。

昭和58年度は、90件について写真撮影を行った。

- ・写真撮影委託先 福島県飯坂町 山口工房

③ 文化財保護強調週間

11月1日から7日まで、県庁本庁舎正面に懸垂幕を掲げ、啓発を行った。

④ 文化財防火デー

毎年1月26日を文化財防火デーと定めているが、県内各消防署等の協力を得て、県内各市町村で防火訓練、防火診断、査察などを実施した。

県教育委員会においても、チラシを作成配布し、文化財の防災に対する啓蒙を行った。

⑤ 第33回福島県民俗芸能大会

県内に継承されている民俗芸能を公開し、民俗芸能に対する認識を深めるとともに、記録保存に努めた。

ア 期 日 昭和58年11月6日
イ 会 場 伊達町民体育館
ウ 主 催 県教育委員会、伊達町、伊達町教育委員会、福島民友新聞社
エ 出演芸能 宮本の祭囃子(伊達町)、伏沖の道祖神太鼓(伊達町)、油井神社の太々神楽(安達町)、渡戸高野の獅子舞(いわき市)、山小屋の平鍛踊(玉川村)、長者原のじゃんがら念仏太鼓踊(大熊町)、箱崎の獅子舞(伊達町)

オ 観 覧 者 約600名

⑥ 第4回福島県民謡まつり

近年の急速な社会情勢の変化に伴い、仕事や生活に密着して伝承されてきた民謡も変化をとげ、古来の姿は日ごとに失いつつある。これらの民謡を発掘して、できる限り本来の姿を再現して一般に公開し、記録保存に努めた。

ア 期 日 昭和58年9月18日
イ 会 場 白河市民会館
ウ 主 催 福島県教育委員会、白河市教育委員会、福島県民謡連盟

エ 公開曲目 浅川盆踊(浅川町)、県南松坂(棚倉町)、白河道中大津絵(白河市)、糺どり唄(白河市)、牛追い唄(昭和村)、白河馬喰唄(白河市)、杭打ち唄(白河市)、ダイモチ引き木遣り(昭和村)、山唄(福島市)、草刈り